

五峡の子

学校だより 6月号

荒川区立第五峡田小学校

校長 出井 玲子

令和4年6月2日(木)

TEL 3892-9515

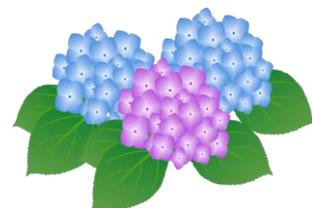
五峡小ホームページ

<http://www.aen.arakawa.tokyo.jp/DAI5HAKETA-E/>

【学校教育目標】 「かしこい子」 「やさしい子」 「たくましい子」

「心を一つに協力して」

校長 出井 玲子



先月28日(土)は、心配された天候にも恵まれ、運動会を開催することができました。

連休明けから始まった練習は、各学年学級とも努力を重ね日増しに演技もそろってきました。紆余曲折の道のりもありましたが、様々な経験が心を一つにし、大きな成果となって本番を迎えることができました。小学校最後の運動会に臨んだ6年生は、競技や演技、準備に力を尽くし、下級生への手本を見事に示してくれました。「五峡ソーラン」では、紺碧の空に五峡ブルーの法被がたなびき輝きました。保護者の皆様には、ご協力ありがとうございました。感染症拡大防止の観点で、今後5年生を中心に「第2運動会」を開催いたしますが、両方を合わせて子供たちにとって思い出に残る学校行事にしたいと思っております。

6年生の国語の学習教材に「時計の時間と心の時間」という説明的文章があります。「筆者の主張や意図をとらえ、自分の考えを発表すること」を学習目標としています。同じ時間でも、やっていることや方法などによって感じ方が違う、という内容です。例えば、ボールをドリブルする10秒間の運動動画でも、①スローモーションで1回ドリブルする動画と②ノーマルモーションで3回ドリブルする動画を比べると同じ10秒間でも①の時間の方が短く感じる。という話題などがあります。①②の動画を視聴することで子供たちは実感をもって内容を把握していました。錯覚を学ぶ要素もあり「同じ時間が違う感覚になる」という心理的科学的話なのですが、「物事には色々な見方があるのではないか」「自分とは違う感じ方をする人がいるのではないか」ということに気付いたり、想像したりするという学習に広がります。授業は、メトロノームを使って数種類のテンポを示し「心地よいと思うテンポ」に挙手によるアンケートへと進みました。子供たちはそれぞれの違いを受け止めるように周りを見回し、自分の心地よいと思うテンポに挙手していました。教材を学ぶだけでなく、教材をきっかけに深く考え、思いを馳せることを大切にしています。

今月は、6年生の下田移動教室があります。昨年度は1泊2日での実施でしたが、今年度は3年振りに2泊3日になります。新型コロナウイルス感染症予防はもとより、安全対策を図りながら、実際に体験・経験出来る貴重な機会を大切に取り組んで参ります。それぞれの違いや思いを受け止めながら心を一つに協力する行事が、またできることと思っております。